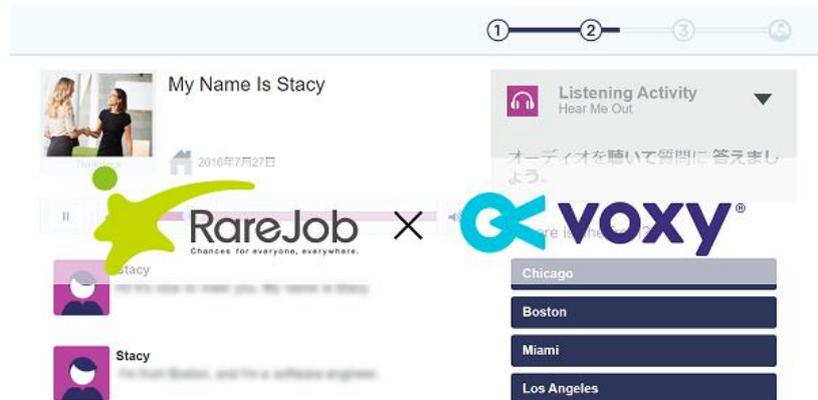


オンライン英会話と世界150カ国で使われる英語学習サービスが連携

レアジョブ英会話「サーキットトレーニング」を開発

インプット学習とオンラインレッスンが完全に連動したビジネス英会話プログラム

英語関連事業を運営する株式会社レアジョブ（以下、レアジョブ）は、米国のVoxy, Inc.の英語学習サービス「Voxy」に対応した、ビジネス英会話総合学習トレーニング「サーキットトレーニング」を開発しました。また、2019年10月より順次、法人企業限定でβ版として試験提供を開始しました。



「サーキットトレーニング」インプット学習 サービス画面（イメージ）

■ 「Voxy」について

「Voxy」は、世界150カ国で400万人以上が利用する英語学習サービスです。インプット学習コンテンツの種類やテーマが豊富に用意されています。また、AIが学習者のレベルや回答内容などを分析して、個人最適化された学習プログラムを作成。学習者は、自分の習熟度に合わせて学習を進められるのも特徴です。

■ 「サーキットトレーニング」

「サーキットトレーニング」は、インプット学習とアウトプット（オンラインレッスン）を完全に連動させた、ビジネス英会話総合学習トレーニングです。

これまで、単語やフレーズなどのインプット学習については、受講者が別教材で実施する必要がありました。「サーキットトレーニング」は「事前インプット」「準備トレーニング」「ライブレッスン」を一貫したプログラムとして提供できるので、ビジネス英会話を総合的に習得することが可能になりました。

<主な特徴>

- ・ビジネスシーンに特化したトレーニング
- ・第二言語習得理論に基づく「インプット→アウトプット」連動型学習

今回はまず、英語初級者を対象にサービスを開発いたしました。本サービスの今後の展開や、対象レベルの拡大については順次検討してまいります。

■「サーキットトレーニング」β版試験提供概要

- ・試験提供開始：2019年10月より順次
- ・「レアジョブ英会話」法人向けサービス「ビジネス英会話コース」ご利用の一部の企業
※試験提供は、一部のご利用企業を対象に行います
- ・今後の展開：試験提供による効果検証の結果をふまえ、順次決定

■本サービスの開発背景

レアジョブは、「日本人1,000万人を英語が話せるようにする。」をサービスミッションに、誰もが英語を話せるようになるためのサービス開発を追求しています。

英語学習の成果を高めるためには、学習の“質”と“量”を適切に担保することが重要です。レアジョブでは、英語習得のプロセスを「アセスメント（英語力の評価）」「レコメンド（学習内容の推奨）」「学習の提供」「学習継続の支援」の4つに分解し、これらを一貫して提供していくことを目指しています。

これまでは、自社のオンライン英会話サービスを中心に、「学習の提供」を行ってまいりましたが、さらなる充実を目指し、国内外問わず、優れたEdTechサービスと提携を積極的に行っています。

この度、2019年3月にOEM契約を締結したVoxy, Inc.と連携し、このような新しい英語学習プログラムの開発を実現できました。今回の試験提供を通じ、今後さらなるサービスの拡大を進めてまいります。



成果を最大化させる、4段階の英語習得プロセス

※4段階の英語習得プロセスをもとにした、今後のサービス展開の構想について

([2020年3月期第一四半期決算補足説明資料](#) P.13より)

【Voxy, Inc.について】

所在地：632 Broadway, Suite 702, New York, NY, USA – 10012

代表者：Paul Gollash

URL：<https://voxy.com/>

事業内容：オンライン英語学習プラットフォーム事業



【株式会社レアジョブについて】

所在地：東京都渋谷区神宮前 6-27-8 京セラ原宿ビル 2F

代表者：代表取締役社長 中村 岳

URL：<https://www.rarejob.co.jp/>

事業内容：英語関連事業

上場取引所：東京証券取引所マザーズ市場（2014年に上場）

レアジョブでは、グループビジョン“Chances for everyone, everywhere.”に基づき「グローバルに人々が活躍する基盤を作る」ことを目指しています。サービスミッションには「日本人1,000万人を英語が話せるようにする。」を掲げ、マンツーマンのオンライン英会話サービス「レアジョブ英会話」を中心に事業を展開しています。ビジョン・ミッションの実現に向け、EdTech企業のリーディングカンパニーとして、国内のみならず事業のグローバル展開を推進してまいります。

■サービスミッションと「英語教育 3.0」

一般に、日本人の約10%が「英語を学んでいる」ないし「英語を学びたいと思っている」と言われます。つまりサービスミッションの“1,000万人”という数字は、「英語が話せるようになりたいと思っている人」の概数を象徴しているのです。

また、レアジョブでは“英語が話せるようになりたいと望む誰もが、英語を話せるようになる”状況を「英語教育 3.0」と定義しています。

読み書き中心で、英語を話す機会が圧倒的に不足していた「英語教育 1.0」は、オンライン英会話サービスの普及により、英語を話す機会が圧倒的に増加した「英語教育 2.0」へと進化しました。これからレアジョブが目指すのが、英語学習の動機づけから学習方法に至るまで一貫して“成果”にフォーカスする「英語教育 3.0」の実現です。

レアジョブはEdTech企業のリーディングカンパニーとして、テクノロジーの力を使って「英語教育 3.0」を、そしてサービスミッションの実現を目指し続けてまいります。

■サービス関連情報

- ・累計無料登録ユーザー数：70万人以上※
- ・累計導入法人企業数：2,200社以上
- ・累計導入教育機関数：230校以上

※ユーザー数は、当社の英語サービスすべてのユーザー数を記載

■提供サービス

- ・[個人向けオンライン英会話サービス「レアジョブ英会話」](#)
- ・[「レアジョブ英会話」法人向けサービス](#)
- ・[法人向け「レアジョブ英会話留学」](#)
- ・[教育機関向け英語教育サービス（株式会社エンビジョン）](#)
- ・[2ヵ月短期集中英会話プログラム「レアジョブ本気塾」](#)



- ・ [レアジョブ英語学習アプリ「RareJob Apps」](#)
- ・ [英語を手段にチャンスをつかむためのメディア「RareJob English Lab」](#)
- ・ [英語の価値を見つけるプロジェクト「WHY ENGLISH」](#)

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】

株式会社レアジョブ 広報 荒川、水口

メール：press@rarejob.co.jp TEL：03-5468-7401／FAX：03-5468-7402